

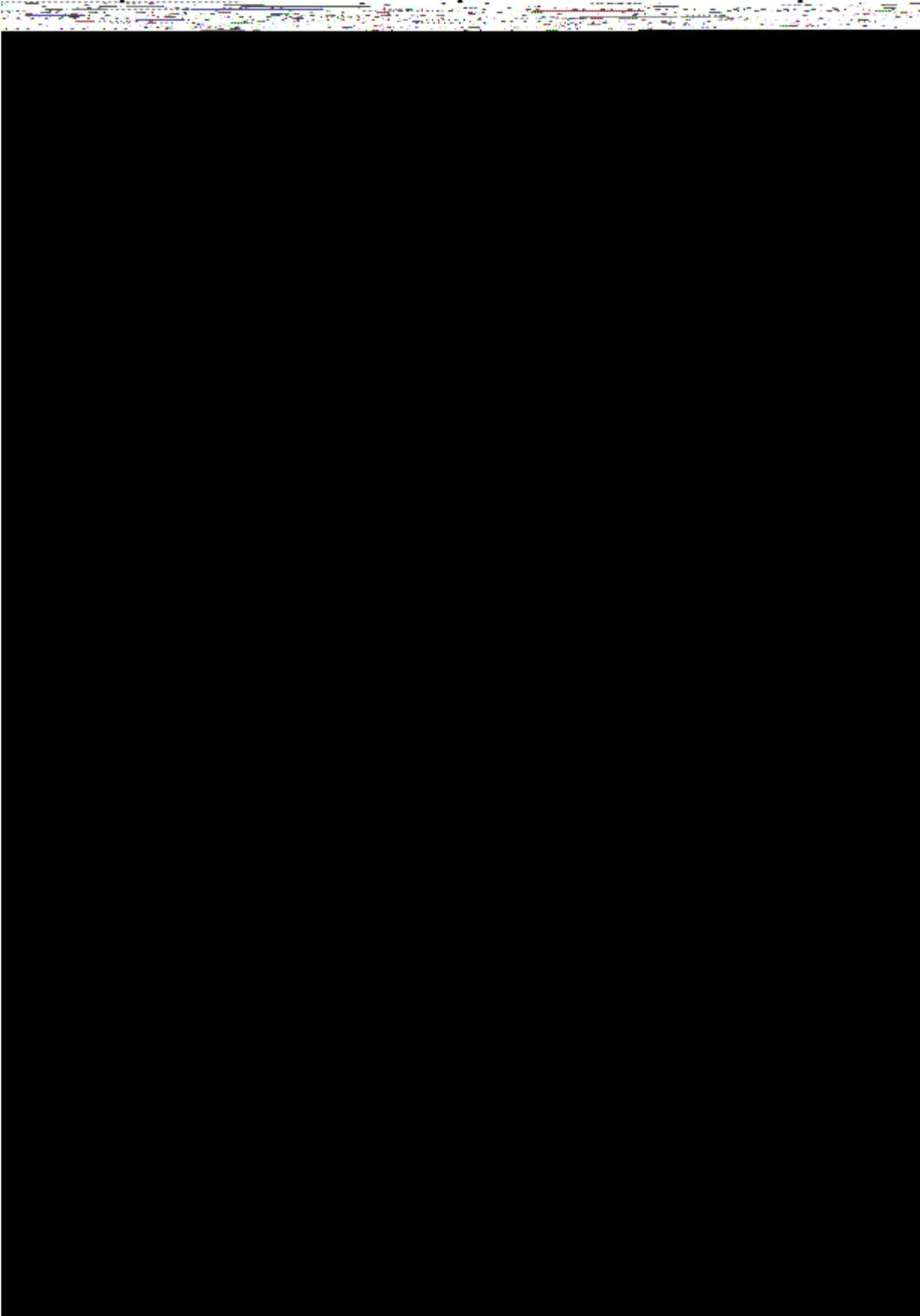
2 【沿革】

当社は大正2年9月、住友総本店が現在の愛媛県新居浜市に肥料製造所を開設したのを事業の始めとし、大正14年6月、株式会社住友肥料製造所として独立した。

E00752)

3 【事業の内容】

得意先



大日本住友製薬㈱	大阪市中央区	22,400	医療用医薬品等の製造・販売	50.46	役員の兼任等 無 営業上の取引 当社は同社に製品を販売するとともに用役を供給している。 設備の賃貸借 当社は同社に工場用地を賃貸している。 資金援助 当社は同社から資金を借入れている。
東友ファインケム㈱	大韓民国 イクサン市	千ウォン 208,788,040	液晶表示板用カラーフィルター、液晶用偏光フィルム、電子材料および精密化学品の製造・販売	100.00	役員の兼任等 兼任2 出向1 営業上の取引 当社は同社に製品を販売するとともに技術供与を行っている。 資金援助 当社は同社に債務保証を行っている。
ペーラントU.S.A. コーポレーション	米国 カリフォルニア州 ウォルナットク リーク市	千米ドル 150,000	農薬等の開発・販売および関係会社に対する投資	100.00	役員の兼任等 兼任3 出向1 営業上の取引 当社は同社に製品を販売している。

X 弔 礪 喪退

日本オキシラン(株)	東京都中央区	8,400	プロピレンオキサ イドおよびスチレンモ ノマーの製造・販売	60.00	役員の兼任等 兼任2 出向3 営業上の取引 当社は同社より原材料、製
------------	--------	-------	-------------------------------------	-------	---

(2) 持分法適用関連会社

会社名	住所	資本金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の 所有割合 (%)	関係内容
ラービグ ド・ペトロケミカル カンパニー	リファイニング アン サウジアラビア国 ラービグ	千サウジリアル 8,760,000	石油製品および石油 化学品の製造・販売	37.50	役員の兼任等

5 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年3月31日現在

事業の種類別セグメントの名称	従業員数(人)
基礎化学	2,108
石油化学	2,923
精密化学	1,519
情報電子化学	6,504
農業化学	2,864
医薬品	5,396
その他	3,468
全社共通	806
合計	25,588

2 【生産、受注及び販売の状況】

3 【対処すべき課題】

今後のわが国経済は、原油価格をはじめとする原料価格全般の高騰に加え、米国経済の減速などにより、
E00752)

場での経済情勢の悪化、あるいは顧客企業の業績状況の変化などによる値下げ要求が発生した場合、当社グループの経営成績ならびに財政状況に悪影響を及ぼす可能性がある。

3．金利変動に係るリスク

当社グループは、資金需要に対してその内容や財政状況および金融環境を考慮し、調達の種類・期間・方法等を判断している。今後の金利の変動に備え、固定金利・変動金利を適宜組み合わせ、調達を行っているが、金利が上昇した場合には支払利息が増加し、当社グループの経営成績ならびに財政状況に悪影響を及ぼす可能性がある。

4．株式相場変動に係るリスク

(製品の品質)

当社グループは、世界的に認められている厳格な品質管理基準に従って、各種製品を製造しているが、すべての製品について欠陥が無く、将来に亘ってリコールが発生しないという保証はない。大規模な製品

5 【経営上の重要な契約等】

(1) 当社と住化武田農薬株式会社との合併契約

当社は、平成19年8月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社である住化武田農薬株式会社の全株式を取得したうえで、平成19年11月1日を期して吸収合併することを決定し、合併契約書を締結した。

合併契約の概要は次の通りである。

合併の目的

情報電子化学分野では、I T関連企業の先端技術に対応する新規材料・部材に関する新製品の開発に、引
E007R 丞軟(株)丞軟(株)丞軟(株)丞仔匱 敬ぞ

7 【財政状態及び経営成績の分析】

文中における将来に関する事項は、当連結会計年度末において当社グループが判断したものである。

(1) 重要な会計方針および見積り

当社グループの連結財務諸表は、わが国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。その作成には、経営者による会計方針の選択・適用、資産・負債および収益・費用の報告金額および開示に影響を与える見積りを必要とする。経営者は、これらの見積りについて、過去の実績等を勘案し合理的に判断しているが、実際の結果は、見積り特有の不確実性があるため、これらの見積りと異なる場合がある。

当社グループの連結財務諸表で採用する重要な会計方針は、第5 [経理の状況] の連結財務諸表の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載しているが、特に次の重要な会計方針が、連結財務諸表作成における重要な見積りの判断に大きな影響を及ぼすと考えている。

貸倒引当金

E00752)

算上の差異として累積され、主として3年間で定期的に費用処理されている。

当期純利益

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の総額は441億円となり、税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の法人税等の負担率は、前連結会計年度の36.4%から2.0ポイント低下し34.4%となった。

少数株主利益は、主として大日本住友製薬株式会社や日本シンガポール石油化学株式会社などの連結子会社の少数株主に帰属する利益からなり、前連結会計年度の213億円に比べ3億円減少し、当連結会計年度は210億円となった。

この結果、当期純利益は、前連結会計年度の939億円に比べ308億円減少し631億円となった。

(3) 資本の財源および資金の流動性

財政政策

当社グループは、営業活動によるキャッシュ・フローのほか、銀行借入、資本市場における社債およびコマーシャル・ペーパーの発行等により、必要資金を調達している。当社グループの財務活動の方針は、低利かつ中長期に亘り安定的な資金調達を行うこと、および十分な流動性を確保することである。

当社グループの当連結会計年度末の現金及び現金同等物は1,074億円であり、流動比率（流動資産/流

純資産（少数株主持分を含む）は、前連結会計年度に比べ245億円減少し、1兆60億円となった。そのうち自己資本は、当期純利益631億円を含め、利益剰余金が408億円増加した一方、その他有価証券評価差額

2 【主要な設備の状況】

(2) 国内子会社

平成20年 3 月31日現在

会社名	事業所名 (所在地別)
-----	----------------

住友共同E00752)

(6) 【大株主の状況】

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 会社法第155条第7号の規定に基づく普通株式の取得

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はない。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はない。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

区分	株式数(株)	価額の総額(千円)
当事業年度における取得自己株式	401,744	351,311
当期間における取得自己株式	24,804	E00752)

3 【配当政策】

E00752)

昭和44年4月 当社入社
平成9年6月

代表取締役 専務 亀井康夫 昭和21年1月8日生
執行役員

(注)3

32

E00752)

6 【コーポレート・ガバナンスの状況】

(1) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、変化する社会・経済諸情勢の下において、株主の皆様を中心とした様々なステークホルダーの利益に適うようにすることが、コーポレート・ガバナンスの基本であると認識しており、その充実に努めている。

第5 【経理の状況】

1 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号、以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成している。

なお、前連結会計年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)は、改正前の連結財務諸表規則に基づき、当連結会計年度(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)は、改正後の連結財務諸表規則に基づいて作成している。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成している。

なお、前事業年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)は、改正前の財務諸表等規則に基づき、当事業年度(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成している。

2 監査証明について

当社は、証券取引法第193条の2の規定に基づき、前連結会計年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の連結財務諸表、及び前事業年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の財務諸表につい

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年3月31日)		当連結会計年度 (平成20年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	

【連結損益計算書】

E00752)

当連結会計年度(自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計

【連結キャッシュ・フロー計算書】

前連結会計年度
(自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日)

当連結会計年度
(自 平成19年4月1日
至 平成

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

前連結会計年度
(自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日)

当連結会計年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

1 連結の範囲に関する事項

連結の範囲に含めた子会社は次のとおりである。

スミトモ ケミカル アメリカ インコーポレーテ
ッド
スミカ ポリマーズ アメリカ コーポレーション
日本シンガポール石油化学株式会社
大日本住友製薬株式会社
東友ファインケム株式会社
ベーラント U.S.A. コーポレーション
ベーラント バイオサイエンス コーポレーション
住化電子材料科技(無錫)有限公司
住華科技(股)有限公司

(4) 重要な引当金の計上基準

(会計処理の変更)

前連結会計年度
(自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日)

当連結会計年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当連結会計年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用している。

これまでの資本の部の合計に相当する金額は、794,839百万円である。

なお、当連結会計年度における連結貸借対照表の純

6 偶発債務

(1) 保証債務

日本アサハンアルミニウム(株)	8,132百万円
従業員(住宅資金)	1,325
サンノー食品(株)	1,057
その他	1,456
計	11,970

(注)日本アサハンアルミニウム(株)については自己負担額で表示している。

(2) 保証類似行為

経営指導念書にかかる偶発債務 京葉エチレン(株)	173百万円
-----------------------------	--------

工事完成にかかる偶発債務 ラービグ リファイニング アンド ペトロケミカル カンパ ニー	132,650百万円
---	------------

(ア) 完工保証

6 偶発債務

(1) 保証債務

日本アサハンアルミニウム(株)	5,563百万円
従業員(住宅資金)	1,154
その他	4,165
計	10,882

(注)日本アサハンアルミニウム(株)については自己負担額で表示している。

(2) 保証類似行為

経営指導念書にかかる偶発債務 京葉エチレン(株)	86百万円
-----------------------------	-------

工事完成にかかる偶発債務 ラービグ リファイニング アンド ペトロケミカル カンパ ニー	272,065百万円
---	------------

E00752)

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(3) 取引に係るリスク管理体制

当社では、デリバティブ取引の利用目的、取組方針、取引に係る権限や手続を定めた内規を作成しており、この内規の遵守および取引のヘッジ効果の確認等によりリスク管理を行っている。

当社におけるデリバティブ取引の約定手続は、財務担当部門が行う為替予約取引および金利スワップ取引については、経理担当部門と合議のうえ決裁権限者の承認を得て行っている。また、事業部門が行う為替予約取引および先渡取引については、経理担当部門との必要な合議のうえ決裁権限者が承認し取引を行っている。デリバティブ取引の実施部門は取引内容を経理担当部門に報告し、経理担当部門ではデリバティブ取引に係る記帳等を行っている。

連結子会社においても、各社のデリバティブ取引の管理基準等に基づき事業部門または経理担当部門が取引を行い、経理担当部門はその内容につき必要な確認や所定の報告を実施している。

また、当社では、当社グループ全体のデリバティブ

E00752)

- 4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項
- イ 退職給付見込額の
期間配分方法 勤務期間を基準
とする方法
 - ロ 割引率 主として1.2%
 - ハ 期待運用収益率 主として1.5%
 - ニ 過去勤務債務の額の処理年数 主として3年

(税効果会計関係)

前連結会計年度
(平成19年3月31日)

- 1 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

当連結会計年度
(平成20年3月31日)

- 1 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

基礎化学

【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	E00752)
-------------	--------------	--------------	------------	-----------------	---------

(企業結合等関係)

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

E00752)

当連結会計年度(自平成19年4月1日至平成20年3月31日)
E00752)

(共通支配下の取引等)

1 . 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業内容

結合企業

名称：住友化学株式会社

事業の内容：総合化学工業

被結合企業

名称：住化武田農薬株式会社

事業の内容：農薬、園芸用資材の製造、販売

(2) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併であり、住化武田農薬株式会社は解散した。なお、当社は吸収合併前に武田薬品工業株式会社が保有する住化武田農薬株式会社の全株式を買い取ったため、住化武田農薬株式会社の発行済株式を100%所有しており、合併による新株式の発行、資本の増加及び合併交付金の支払いは行っていない。

(3) 結合後企業の名称

住友化学株式会社

(4) 取引の目的を含む取引の概要

スミトモ ケミカル キャピタル アメリカ インコーポレーテッド 1	ユーロ ミディア ム ターム ノート	平成18年 2月28日～ 平成18年 8月31日	3,995 (3,995) [33,539千米
--	--------------------------	-----------------------------------	-------------------------------

【借入金等明細表】

区分

E00752)

区分	注記 番号	前事業年度 (平成19年3月31日)		当事業年度 (平成20年3月31日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
E00752)					

固定資産圧縮積立金	6,615		8,502		
別途積立金	142,585		203,585		
繰越利益剰余金	92,836		32,703		
利益剰余金合計		265,773	19.3	267,657	18.8
4 自己株式		1,625	0.1	1,945	0.1
株主資本合計		377,562	27.4	379,137	26.6
評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価 差額金		119,187	8.7	72,535	5.1
2 繰延ヘッジ損益		2,304	0.2	2,107	0.1
評価・換算差額等合計		116,883	8.5	70,428	4.9
純資産合計		494,446	35.9	449,565	31.5
負債純資産合計		1,378,9?	稜凶	忝 考耐	

2 抱合株式消滅差益		1,386			-		
3 固定資産売却益	6	-	43,301	4.9	4,497	7,169	0.8
特別損失							
1 固定資産整理損失	8	2,197			4,238		
2 抱合株式消滅差損		-			2,178		
3 関連事業損失	7	-	2,197	0.3	1,796	8,211	

【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

	資本剰余金	株主資本 利益剰余金	自己 株式	評価・換算差額等 E00752)	純資産 合計
資本金					

E00752)

9 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法

税抜方式によっている。

(会計処理の変更)

前事業年度
(自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日)

当事業年度
(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

キープウェル・レターにかかる偶発債務	
スミトモ ケミカル (U.K.)plc	7,500 百万円
スミトモ ケミカル キャピタル アメリカ Inc.	1,700
計	9,200

キープウェル・レターにかかる偶発債務	
スミトモ ケミカル (U.K.)plc	7,509 百万円

工事完成にかかる偶発債務

ラービグ リファイ ニ ング アンド ペトロケ ミカル カンパニー	132,650 百万円
---	-------------

(ア) 完工保証

サウジアラビアにおけるラービグ計画
に関するプロジェクト・ファイナンス
に完工保証を行っている。完工保証にか
E00752)

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(リース取引関係)

前事業年度

(自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日)

1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

E00752)

当事業年度

(自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日)

1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

(税効果会計関係)

前事業年度
(平成19年3月31日)

当事業年度
(平成20年3月31日)

(1 株当たり情報)

前事業年度

【引当金明細表】

区分	前期末残高 (百万円)	当期増加額 (百万円)	当期減少額 (目的使用) (百万円)	当期減少額 (その他) (百万円)	当期末残高 (百万円)
貸倒引当金	2,370	229	617	686	1,295
賞与引当金	9,900	9,550	9,900	-	9,550
定期修繕引当金	10,208	6,535	12,095	-	4,647

被合併会社である住化武田農業株式会社E00752)

第17期
(平成19年3月31日)

区分	注記 番号	金額(百万円)	構成比 (%)
----	----------	---------	------------

損益計算書

第17期

(自 平成18年 4月 1日
至 平成19年 3月31日)

	区分	注記 番号	金額(百万円)	百分比 (%)
売上高				
1 売上高		3		

株主資本等変動計算書
当事業年度（自

E00752)

(会計処理の変更)

第17期
(自 億 櫻 閣 楯 袄 契 虎 燭 濫 富 鑄 g 哦 卅 濫 富 鑄 g 哦 零 砒 蔭 楨 渾

(有価証券関係)

当事業年度(平成19年度3月31日)

1 その他有価証券で時価のE00752)

附属明細表

有価証券明細表

株式

銘柄

株式数(株)

貸借対照表計上額
(百万円)

協友アグリ株式類群

投資有価証券 その他有価証券

Q

借入E00752)

(注) 1 売掛金滞留状況

経過月数	金額(百万円)
期末売掛金残高	249,769

(注) 2 売掛金回収状況

項目	金額(百万円)
期首売掛金残高	E00752)

支払手形

相手先	金額（百万円）
株式会社日本システムグループ	1,582
笠原工業株式会社	819
日泉化学株式会社	781
シコー株式会社	287
ニロジャパン株式会社	255
その他	則娘鈴餌壘

長期借入金

相手先	金額(百万円)
株式会社三井住友銀行	20,000
住友生命保険相互会社	9,500
日本生命保険相互会社	7,000
富国生命保険相互会社	5,000
大阪府信用農業協同組合連合会	5,000
その他	46,288
計	92,788

第6 【提出会社の株式事務の概要】

第7 【提出会社の参考情報】

1 【提出会社の親会社等の情報】

独立監査人の監査報告書

独立監査人の監査報告書E00752)

